



農業委員 11 期 33 年の経験いかし

くらしと農業をまもる

党十日町市委員会農政・物価対策責任者

ひぐち

とみゆき

富行

農業が衰退し、食料の6割以上が海外だのみ・・・。

こんな日本でいいのでしょうか。農業は命と国土をまもる土台です。

私は、農業委員を11期33年務め、「このままでは田んぼをやる人がいなくなる」という農家の切実な状況を目の当たりにしてきました。

くらしや農業を大切に政治に切り替えなければなりません。

安心して住み続けられる十日町市にするために、全力でがんばる

決意です。みなさんのご支援を心よりお願いいたします。

プロフィール／1950年12月生まれ／十日町実業高校卒業／織物会社、十日町民主商工会に勤務／25歳のとき水田90aを引き継ぐ／農業委員11期33年／現在、日本共産党中里支部長

十日町民報 2025年 春期号外 日本共産党十日町市委員会の見解を紹介します。発行／日本共産党十日町市委員会 TEL080-5698-8385

日本共産党



希望のもてる十日町市へ

みなさんと力をあわせて頑張ります！

ひぐち富行のお約束

農業・雇用と地域経済

- 価格保障と所得補償で山間地域の農業経営を守る
- 医療・介護分野で雇用の創出をはかる
- 原発ゼロ、十日町を再生可能エネルギーの先進地に



子育て・教育

- 住民合意のない学校統廃合に反対、地域の学校を守る
- こども園・保育園・小中学校の給食費を無料に
- 子どもの国保税均等割ゼロ
- 子ども医療費を完全無料に
- 国に学費無償化、奨学金返済半額免除を求めます



住み続けられる医療・福祉・生活支援

- 医師確保と地域医療の充実、十日町病院の分娩再開
- 在宅医療・介護の充実
- 要介護世帯の除雪費支援の対象世帯拡大と支援額増額



税金の使い方を暮らし最優先へ！

ひぐち富行は財源をしめして提案します

基金の一部を活用すれば実現できます

- 財政調整基金 25億円 普通会計と特別会計
- 地域振興基金 14億円 合計
- 環境共生基金 23億円など

90億円

総選挙で自公が過半数割れ...

願いかなえるチャンス！

農業を守り、暮らしと地域経済を応援する政治に！私も一緒に頑張ります。

日本共産党参議院議員／参院国対委員長

井上 さとし

いのうえ 哲士



農業、くらしを守りたい… ひぐち富行の決意



中里の農家に生まれて

私は、中里で生まれ育ちました。家は農家で、祖父母、両親、姉2人と弟2人の5人姉弟の9人家族でした。稲作の他に養蚕もおこなっており、桑の葉採りが子どもたちの仕事でした。走るのが得意で中学では陸上部でした。十日町実業高校を卒業し、織物会社に就職しました。



弱者の味方という生き方

との出会い

働きはじめて3年ほど経った時、同僚の一人が不当解雇されそうになりました。

その時、労働者を守る立場で行動したのが民青や日本共産党の人たちでした。

「理不尽に屈しない」「弱い立場の人の味方」という彼らに共感し、日本共産党に入党しました。

「人のために」とよく働いていた祖父

私の祖父は共産党員で、農作業の共同作業所をつくることに尽力しました。「人のために」とよく働いていた姿が印象に残っています。そんな祖父の生き方に、少なからず私は影響を受けました。

農業再生で暮らしを守りたい

25歳のとき、水田90aを引き継ぎ、農業委員を11期33年務めました。

「田んぼをやる人がいない」という声は共通の悩みです。このままでは、国内の食料生産も危うくなり、耕作放棄地が広がり、国土や環境の荒廃が一気に広がりがねません。

私の地域では、農家を継ぐ人がいないという悩みから、力をあわせて法人の立ち上げに努めました。しかし、こうした現場の努力だけでは農業はもう守り切れなと感じています。農業再生の為に、

ひぐち富行さんにバトンタッチ

村議から6期21年の長きにわたり支えていただいた皆様に感謝申し上げます。市政をチェックし市民の声を議会に届ける、中里になくてはならない共産党の議席をひぐち富行さんに託します。

ひぐち富行さんは、農家の苦勞を知るとともに、党中里支部長として農業再生や住民の暮らしを守る取り組みに全力でとりくんできた方です。大きなご支援を、今度はひぐち富行さんに心よりお願いいたします。

十日町市議会議員 **鈴木かずお**



住民の苦難軽減に役立ちたい

45歳で民主商工会の事務局長に。地元業者の経営と生活を守るため、相談活動や市議会への要請などに取り組んできました。

いま「物価高で暮らしが大変」など切実な声をお聞きし、政治の役割を痛感します。誰もが安心して住み続けられる十日町市にするために全力で頑張ります。ご支援よろしくお願いたします。



子どもが小さい頃、山伏山にハイキング